

人口問題資料第4輯
昭和 19 年 5 月



熊本縣醫師會調

熊本縣人口增強基本調查結果概要

厚生省研究所人口民族部

B50.41

90

4-4

M93A05

41

人口問題資料第4輯

昭和19年5月

熊本縣醫師會調

熊本縣人口增強基本調查結果概要

厚生省研究所人口民族部

は し が き

本輯は厚生省研究所人口民族部に於て昭和14年及同15年、熊本縣醫師會が熊本縣、日本學術振興會、實積會、實驗醫學研究所等の援助の下に行ひたる「熊本縣人口増強基本調査」を整理編成し其の結果の概要を摘録したるものにして人口問題の調査研究及人口政策上參考に資する爲印刷に附したるものなり。

尙本調査の詳細なる結果は「熊本縣人口増強基本調査結果報告」として別冊を以て印刷に附せり。

昭和19年5月10日

厚生省研究所人口民族部

目 次

1. 序 言	1
2. 市郡別調査人口年齢構成	3
3. 初 婚 年 齡	5
4. 妻の學歷と結婚年齢	6
5. 職業と結婚年齢	8
6. 妻の結婚年齢と分娩數並不妊	10
7. 夫の結婚年齢と分娩數	12
8. 職業と分娩數並不妊	14
9. 月經初潮年齢と分娩數	16
10. 月經持續年數と分娩數	17
11. 分娩年代別分娩數	19
12. 妊 孕 力 調 査	20
13. 結婚年齢と初産	21
14. 妻(經閉者)の同胞數と分娩數	24
15. 妻(經閉者)の同胞中の順位と分娩數	26
(1) 同胞2人の者	26
(2) 同胞5人の者	27
(3) 同胞7人の者	28
(4) 同胞10人以上の者	30
16. 夫(經閉者に對する)の同胞數と分娩數並不妊	31
17. 夫(經閉者に對する)の同胞中の順位と分娩數	32

(1) 夫の同胞2人の者	32
(2) 夫の同胞5人の者	33
(3) 夫の同胞7人の者	34
(4) 夫の同胞10人以上の者	36
18. 妊娠順位と流早産、死産並乳児死亡	37
19. 居住と出生児の健否	38
20. 母の教育程度と出生児の健否	39
21. 出生児の養育と生死	40

統計表 目次

第 1 表	市郡別調査人口年齢構成	4
第 2 表	平均初婚年齢	5
第 3 表	妻の學歷と結婚年齢	6
第 4 表	夫の職業別平均結婚年齢	8
第 5 表	妻(經閉者)の結婚年齢と分娩數並不妊	10
第 6 表	夫(經閉者に對する)の結婚年齢と分娩數並不妊	12
第 7 表	夫の職業と分娩數並不妊	15
第 8 表	月經初潮年齢と分娩數	16
第 9 表	月經持續年數と分娩數	17
第 10 表	分娩年代別分娩數	19
第 11 表	妊孕力調査(妊娠可能婦人累積數及對數値)(八木國男氏調査)	20
第 12 表	結婚年齢と初産迄の年數	22
第 13 表	妻(經閉者)の同胞數と分娩數	25
第 14 表	妻の同胞中の順位と分娩數 (1) 同胞 2 人の者	26
第 15 表	妻の同胞中の順位と分娩數 (2) 同胞 5 人の者	27
第 16 表	妻の同胞中の順位と分娩數 (3) 同胞 7 人の者	28
第 17 表	妻の同胞中の順位と分娩數 (4) 同胞 10 人以上の者	29
第 18 表	夫(經閉者に對する)の同胞數と分娩數	31
第 19 表	夫の同胞中の順位と分娩數 (1) 夫の同胞 2 人の者	32
第 20 表	夫の同胞中の順位と分娩數 (2) 夫の同胞 5 人の者	33
第 21 表	夫の同胞中の順位と分娩數 (3) 夫の同胞 7 人の者	34
第 22 表	夫の同胞中の順位と分娩數 (4) 夫の同胞 10 人以上の者	35
第 23 表	夫妻の同胞數別 1 人平均分娩數	36
第 24 表	妊娠順位と流早産、死産、乳兒死亡比率	37
第 25 表	居住と出生兒の健否	38
第 26 表	母の教育程度と出生兒の健否	39
第 27 表	出生兒の榮養と生死	40

統計圖目次

第 1 圖	調査人口年齢構成	3
第 2 圖	平均初婚年齢	5
第 3 圖	妻の學歷と結婚年齢	7
第 4 圖	夫の職業別平均結婚年齢	9
第 5 圖	夫妻(經閉者)の結婚年齢と分娩數	14
第 6 圖	夫の職業と分娩數	15
第 7 圖	月經初潮年齢と分娩數	17
第 8 圖	月經持續年數と分娩數	18
第 9 圖	分娩年代別分娩數割合	19
第 10 圖	妊 孕 力	21
第 11 圖	結婚後の經過年數と初産者の増加	24
第 12 圖	同胞數と分娩數	30

1. 序 言

熊本縣醫師會に於ては、支那事變の起りたる當時、九州に於ける22市より、昭和12年と昭和13年の出生數、死産數並5歳未満の乳幼児の死亡數を毎月調査通報を受け、集計を始めた。然るに、昭和13年の7月迄は大なる戦争の影響を見出さざりしも、8月に至り出生率は前年の約8%程度の低下を來し、9月には遂に24.8%、即ち約4分の1の減少を見るに至つたのである。斯かる減少は歐洲大戰の例に於ても明かなる處にして、大戦争の場合には出生率が減少する事實は既に一般に知られたる處である。従つて斯かる出生率の減少を見出したる以上、一日も早く精密なる調査に基き對策を講ずる必要のあることを痛感し、熊本縣醫師會に於て昭和14年の春、熊本市に於て日本婦人科學會が開催せられたる場合に此の事を申出て、參集者の賛同を得て婦人科學會の出産力調査に迄進行したのである。然し婦人科關係者に依つて得られたる調査其のものは、總て大學に來る患者又は大きな病院に來る病人等限られたる範圍内の調査である爲に、熊本縣醫師會に於ては縣下の津々浦々迄も残る限なく調査せんことを期したのである。尤も本調査は熊本縣醫師會員並産婆會員の絶大なる協力と醫科大學、縣廳、市町村、警察、愛國・國防兩婦人會等の援助の下に完成したるものにして、初め昭和14年7月以來縣下在住の40歳以上の全婦人に就いて人口増強基本調査カードによりて第1回調査を爲し、136,707人分を集め、翌15年は更に皇紀2600年記念事業として40歳以前の年若い既婚婦人86,945人に就いて第2回調査カードに依つて調査を施行し、兩回に於て總數223,652人分の資料を蒐集し得たのである。

調査の方法は、先づ第一に熊本縣醫師會評議員會を開いて之を審議し全員の賛成を得たる後、關係各方面に依頼狀を發送し、尙熊本縣常

會報を以て人口増強基本調査の必要性を説き、郡・市醫師會及産婆會は何れも總會を開きて調査の方法を協議し、醫師會員及産婆會員を總動員して或は戸別的に訪問し、又は地方を數部落に分ち學校、寺院等に參集を求めて各人別に調査し、之を郡市醫師會に纏めて後、縣醫師會に送達し、大學附屬醫院には入院患者に就いて同様の調査を行ひ、全資料を一纏めにして、昭和14年9月以來集計を開始し、縣市醫師會の正副會長が監督者となり、調査掛りを雇傭して調査集計に當らしめたるものである。而して調査中若しカードに記載すべき事項が洩れて居たり、又は誤つて居ることを發見したる場合は其の都度、再調査を乞ふため、郡市へ返戻したのも相當數に達した。尙、最高分娩年齢の如きは掛員を地方へ派遣して、本人並周圍の者、同村内の醫師、産婆、役場員等に就いて尋問せしめたものである。

集計時の注意としては例へば、

- (1) 經閉者に於ける分娩數の調査時には經閉期迄夫と同棲せるものみに付き調査し、假令同棲するも經閉前に子宮全剔又は膈上部切斷或は兩側卵巢摘出手術、又は不妊手術、レントゲン照射等を行ひたるものは之を除き、經閉前に夫との生別、死別も同様除外し、記載又は應答不明瞭の者も亦全部取除いた。
- (2) 調査時調査員の歩調が一致せざる場合も亦之を除外した。例へば翌年調査時40歳以前の年若き既婚婦人に就いて調査する様全員に依頼したるに拘らず、或數名の醫師並産婆は40歳以下20歳迄と誤認して19歳以下の者に就いては調査をなし居らざることを集計時に發見したる爲、遂に本調査は當時19歳以下の若年既婚婦人を全部取除き、20歳以上の既婚婦人のみに就いて集計したるが如き其の一例である。

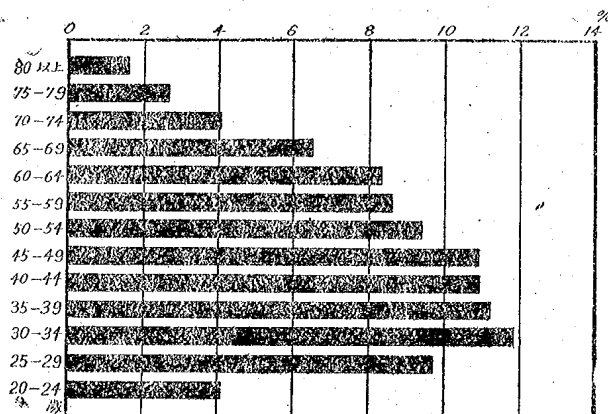
以上の注意の下に調査集計を成したところ町村別表は總數 10,407

表に及び、郡市別となすも總數 533 表の多數なるを以て紙數の關係上
 茲には全縣を 1 表となしたるものと都市、海岸及び山間地方を各々 1
 表としたるもの並綜合曲線圖のみを掲載することとなし、人口政策上
 特に重要なる項目に關しては熊本縣醫師會に於て簡單なる説明を附し
 たるものである。

2. 市郡別調査人口年齢構成

調査したる總人員は第 1 表に示せるが如く 223,652 人にして、夫等の
 婦人に就いて以下の諸項目に就いて調査したるものなるも、昭和 10 年
 度に於ける熊本縣の國勢調査に依れば有配偶の婦人は 259,323 人とな

第 1 圖 調査人口年齢構成
 (調査人口總數を 100 とする割合)



つて居る。有配偶婦人全部を調査すべく努力したるにも拘らず漸く 9
 割 1 分程度の調査に終りたるは遺憾に堪えざるも、彼の五箇莊の如き
 所の調査は頗る困難なるを以て、結局 1 市 12 郡 325 箇町村の調査とな
 り終つたのである。而して其の内、年若き既婚婦人の占むる率が高き

第1表 市郡別調査人口年齢構成

年齢	總數	各市の調査人口に對する割合											宇土郡
		熊本市	玉名郡	阿蘇郡	上益城郡	鉦託郡	八代郡	葦北郡	鹿本郡	天草郡	菊池郡	下益城郡	
總數	223,652	33,417	25,691	12,493	12,486	15,868	17,973	13,249	15,348	24,559	16,092	14,188	8,348
20—44	106,908	17,249	13,051	6,159	6,116	7,735	8,684	6,269	6,940	11,097	6,844	6,027	3,356
20—44の割合に對する割合	—	51.62	50.80	49.30	48.98	48.75	48.32	47.32	45.22	45.19	42.56	42.48	40.20
20—24	9,141	1,274	1,189	734	537	597	823	580	515	686	517	497	209
25—29	21,785	3,551	2,806	1,923	1,218	1,654	1,925	1,274	1,410	2,022	1,415	1,166	593
30—34	26,524	4,470	3,362	1,445	1,533	1,995	2,055	1,540	1,729	2,874	1,585	1,441	783
35—39	25,064	4,013	2,976	1,339	1,586	1,853	2,052	1,426	1,575	2,858	1,523	1,446	780
40—44	24,394	3,941	2,718	1,318	1,242	1,636	1,929	1,449	1,711	2,647	1,804	1,477	991
45—49	24,288	3,580	2,534	1,419	1,325	1,633	1,953	1,545	1,578	2,592	1,907	1,564	998
50—54	21,003	3,099	2,128	1,225	1,129	1,403	1,783	1,273	1,470	2,447	1,642	1,297	850
55—59	19,230	2,609	2,178	1,062	1,062	1,300	1,537	1,118	1,376	2,093	1,561	1,403	820
60—64	18,681	2,348	2,057	975	1,138	1,334	1,439	1,088	1,353	2,173	1,468	1,421	834
65—69	14,426	1,812	1,664	733	741	1,047	1,068	851	1,073	1,823	1,091	1,072	663
70—74	9,058	1,153	1,023	469	491	690	729	534	627	1,104	646	731	420
75—79	5,862	771	659	306	287	437	420	330	483	741	525	423	231
80以上	3,487	441	393	117	164	264	268	222	321	453	340	249	154
不詳	709	355	4	28	33	25	42	9	27	36	58	1	22

(1) 本表に記載せる年齢は昭和15年調査の20歳以上40歳未満の86,890人(此の他に年齢不明55人)は其の儘とし、昭和14年調査40歳以上の138,053人(此の他に年齢不明654人)には1年を加算したるものなり。

(2) 市郡の別は20—44歳人口の總數に對する率の高きものより低きものの順序による。

地方より順次市郡別に掲載すれば、球磨郡最も多く、以下熊本市、玉名、阿蘇、上益城、飽託、八代、葦北、鹿本、天草、菊池、下益城、宇土郡の順となり、調査人口總數中30歳乃至34歳の者が最も多數にして26,524人、即ち11.86%を占めて居る。

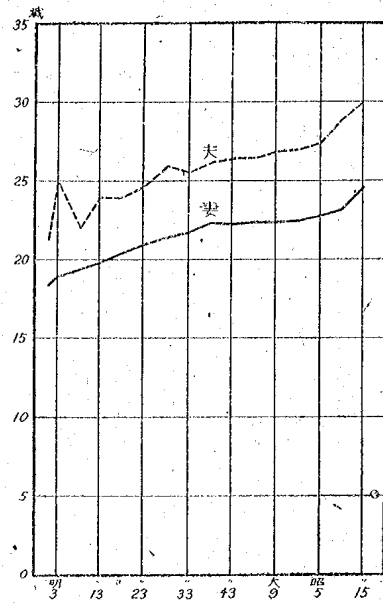
3. 初 婚 年 齡

我が國の出生率は大正9年以來漸減しつつあるが、其の一因として婚姻年齢の上昇を擧げ得る。我が國に於ける婚姻年齢の變動に就いて見るに、漸次上昇を示してゐる。即ち初婚者の平均婚姻年齢は、明治41年に於ては妻22.87歳が昭和13年に於ては24.41歳即ち1.54歳遅れ、

第2表 平均初婚年齢

年次	結婚者數		平均初婚年齢		
	夫	妻	夫	妻	年齢差
昭和15	1,883	1,907	30.047	24.630	5.417
10	5,003	5,115	28.880	23.231	5.649
5	5,049	5,244	27.409	22.839	4.570
大正14	4,588	4,915	26.990	22.506	4.484
9	5,362	5,776	26.798	22.377	4.421
4	3,466	4,651	26.433	22.264	4.169
明治43	3,040	3,698	26.405	22.221	4.184
38	2,303	3,478	26.151	22.294	3.857
33	1,986	3,285	25.536	21.659	3.877
28	1,320	2,518	25.924	21.370	4.554
23	666	1,676	24.554	20.971	3.583
18	338	1,023	23.792	20.417	3.375
13	98	525	23.979	19.752	4.227
8	24	221	21.958	19.366	2.592
3	2	72	25.000	19.000	6.000
1	4	41	21.250	18.414	2.836

第2圖 平均初婚年齢



夫は26.81歳が28.39歳、即ち1.58歳遅れて居る。今之を本調査の結果

に就いて観るに第2表及第2圖に示すが如く明治元年に於ては婦人が18.41歳約18歳で結婚したるものが明治18年頃には約20歳、明治33年に21.66歳、大正9年に22.38歳、昭和15年に24.63歳と云ふ様に次第に結婚の時期が遅れて来て居るのである。

夫の方に於ても同様に明治元年21.25歳が同18年には23.79歳、同33年には25.54歳、大正9年には26.80歳、昭和15年には30.05歳と上昇を示して居る。

4. 妻の學歷と結婚年齢

學歷と結婚年齢との関係を見るに第3表及第3圖の如く矢張り學校卒業の時期如何に依り相當の差が認められる。即ち、専門學校卒業者

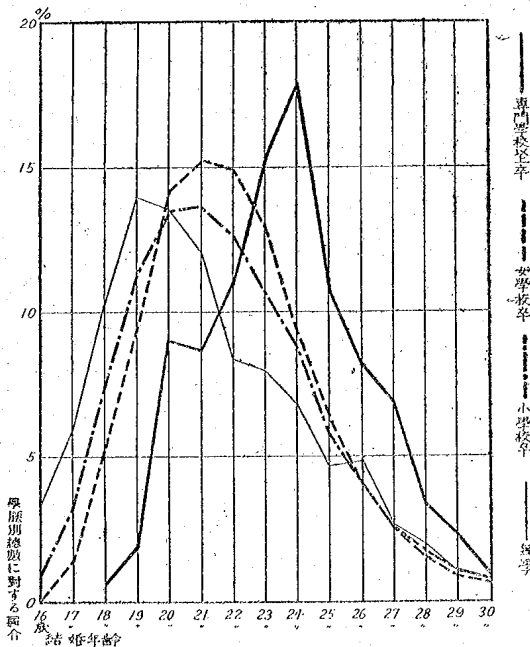
第3表 妻の學歷と結婚年齢

結婚 年齢	實 數					割 合				
	總 數	小學校 卒	女學校 卒	専門學校 卒以上	無 學	總 數	小學校 卒	女學校 卒	専門學校 卒以上	無 學
總數	80,747	67,609	12,277	346	515	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
13	3	2	—	—	1	0.00	0.00	—	—	0.19
14	12	12	—	—	—	0.01	0.02	—	—	—
15	160	156	—	—	4	0.20	0.23	—	—	0.78
16	700	677	6	—	17	0.87	1.00	0.05	—	3.30
17	2,469	2,262	176	—	31	3.06	3.35	1.43	—	6.02
18	5,905	5,177	673	2	53	7.31	7.66	5.48	0.58	10.29
19	8,980	7,727	1,174	7	72	11.12	11.43	9.56	2.02	13.98
20	10,954	9,108	1,745	31	70	13.57	13.47	14.21	8.96	13.59
21	11,176	9,212	1,872	30	62	13.84	13.63	15.25	8.67	12.04
22	10,396	8,482	1,832	39	43	12.87	12.55	14.92	11.27	8.35
23	8,937	7,249	1,593	54	41	11.07	10.72	12.98	15.61	7.96
24	7,214	5,972	1,145	62	35	8.93	8.33	9.33	17.92	6.80
25	4,783	3,953	769	37	24	5.92	5.84	6.26	10.69	4.66
26	3,249	2,688	508	28	25	4.02	3.98	4.14	8.09	4.85
27	2,062	1,733	312	24	13	2.58	2.56	2.54	6.94	2.52

28	1,382	1,171	189	12	10	1.71	1.73	1.54	3.47	1.94
29	850	723	114	8	5	1.05	1.07	0.93	2.31	0.97
30	574	490	77	3	4	0.71	0.72	0.63	0.87	0.78
31	288	254	28	4	2	0.36	0.38	0.23	1.16	0.39
32	225	189	32	3	1	0.28	0.28	0.26	0.87	0.19
33	159	144	12	2	1	0.20	0.21	0.10	0.58	0.19
34	93	80	12	—	1	0.12	0.12	0.10	—	0.19
35	57	54	3	—	—	0.07	0.08	0.02	—	—
36	40	38	2	—	—	0.05	0.06	0.02	—	—
37	32	31	1	—	—	0.04	0.05	0.01	—	—
38	17	15	2	—	—	0.02	0.02	0.02	—	—
39	9	9	—	—	—	0.01	0.01	—	—	—
40	1	1	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—

本表外に結婚年齢不明 2,581人 學歷不詳 3,617人あり、總數 86,945人なり。(第2回調査)

第3圖 妻の學歷と結婚年齢



は結婚期が非常に遅れて22歳乃至25歳に於て結婚する者が殆んど大部分を占め、女學校卒業者は20歳より23歳、小學校卒業生は19歳より22歳位迄の間に結婚する者が大部分を占めて居る。前にも述べたる如く結婚期が遅れる事は出生率低下の一因となるを以て、學校が進む程結婚年齢の遅れる事實に鑑み學制を考究して國民學校の入學期を早めて女學校の卒業期を繰り上げ結婚期を18乃至20歳迄位とす

ることが出来れば人口増強政策的観点よりは最も望まじき事である。

5. 職業と結婚年齢

職業と結婚年齢との関係を見るに、第4表及第4圖に示すが如く農業者は最も若くして夫26.63歳、妻22.13歳なるも水産業、鑛業、工業、商業従事者は次第に結婚年齢が遅れ、尙公務自由業、勞務者、家事使用人は尙一層結婚年齢遅れ、家事使用人にありては夫は28.09歳、即ち農業従

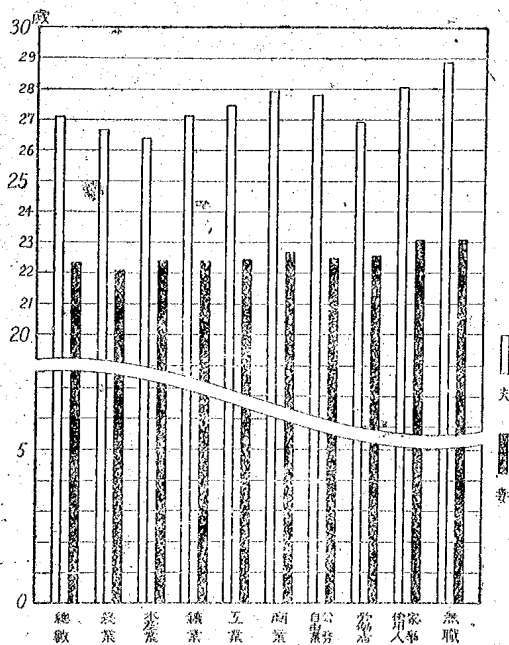
第4表 夫の職業別平均結婚年齢

夫	妻	總數	農業	水産業	鑛業	工業	商業	公務自由業	勞務者	家事使用人	無職	職不明
熊 本 縣												
夫		27.11	26.63	26.39	27.16	27.48	27.96	27.82	26.93	28.09	28.80	27.70
妻		22.33	22.13	22.43	22.44	22.48	22.69	22.48	22.51	23.04	23.08	22.48
夫妻の差		4.78	4.50	3.96	4.72	5.00	5.27	5.34	4.42	5.05	5.72	5.22
都 市												
夫		28.16	27.10	28.10	30.12	27.87	28.22	28.42	27.66	28.24	29.10	28.44
妻		22.69	22.29	23.44	23.72	22.61	22.82	22.62	22.91	23.31	23.20	22.40
夫妻の差		5.47	4.81	4.66	6.40	5.26	5.40	5.80	4.75	4.93	5.90	6.04
山 間												
夫		26.44	25.97	29.55	26.41	27.03	27.63	27.41	27.11	27.11	28.49	27.10
妻		21.60	21.35	21.86	20.91	21.99	22.21	22.10	22.17	21.79	22.47	21.87
夫妻の差		4.84	4.62	7.69	5.50	5.04	5.42	5.31	4.94	5.32	6.02	5.23
海 岸												
夫		27.01	26.91	26.15	25.96	27.44	27.62	27.48	26.58	28.71	28.64	27.70
妻		22.61	22.53	22.35	22.70	22.80	22.77	22.76	22.70	23.29	23.49	22.85
夫妻の差		4.40	4.38	3.80	3.26	4.64	4.85	4.72	3.88	5.42	5.15	4.85

職業別	農 業	農業、畜業、獸業、林業を含む
	工 業	金屬工業、化學工業、纖維工業、紙工業、機械器具製造工業、皮革類及木竹品製造業、飲料品、食料品製造業、土木建築業、電氣ガス利用業、製版、印刷、製本業
	商 業	物品販賣業、媒介周旋業、運搬業、金融業、物品借貸業、旅館、

公務自由業	飲食店、酒場、理髮業、その他 陸海軍人、官公吏、雇人、宗教家、醫家、法家、其の他の自由業
勞務者	大工、石工、左官、馬車操、人夫、其の他の肉體的勞務者を含む
家事使用人	女中、店員を含む、其の他の使用人
水産業	漁業、製鹽業を含む
礦業	探礦冶金業、土石採集業
無職	

第4圖 夫の職業別平均結婚年齢



事者より1.46歳遅れ、妻は23.04歳即ち農業従事者より0.91歳遅れて居る。今之を都市、山間及び海岸地方に區別すれば(第4表参照)、農業者のみに就いて見るも都市にありては夫27.10歳、妻22.29歳にして山間地方は夫25.97歳、妻21.35歳となり海岸地方は夫26.91歳、妻22.53歳にして山間地方最も早く、海岸地方之に次ぎ都市は最も遅れて居る。

尙本調査に於て都市、山間及び海岸地方の3種に分類したる地域は、都市として

熊本市を選び其の調査人員は33,417人、山間部としては阿蘇郡、上益城郡、球磨郡を選び、其の調査人員は38,929人、海岸部としては天草、宇土の二郡と葦北郡の二見村、田浦村、佐敷町、湯浦村及び津奈木村の五ヶ町村を選び其の調査人員は38,641人を算したのである。

6. 妻の結婚年齢と分娩数並不妊

第1回調査の40歳以上の既婚婦人136,707人中経閉期造夫婦同棲したる者は総数87,366人(第5表及第5圖参照)にして結婚年齢13歳の者が最も若くして3名あり、結婚年齢20歳の者最多数にして9,907人即ち11.34%を占めてゐる。不妊者の最も少いのは17歳の結婚者にして6.73%を占め、次は19歳の6.84%となつて居る。不妊者は総数11,011人にして12.6%の多数を占め、分娩総数は405,557にして全婦人に就

第5表 妻(経閉者)の結婚年齢と分娩数並不妊

結婚年齢	結婚者實數			割合		分娩總數	1人平均分娩數
	總數	分娩者	不妊者	分娩者	不妊者		
總數	87,366	76,355	11,011	87.40	12.60	405,557	5.31
13	3	2	1	66.67	33.33	6	3.00
14	27	25	2	92.59	7.41	153	6.12
15	641	585	56	91.26	8.74	3,729	6.37
16	1,556	1,445	111	92.87	7.13	8,900	6.16
17	3,656	3,410	246	93.27	6.73	20,529	6.02
18	6,351	5,873	478	92.47	7.53	35,274	6.01
19	9,240	8,608	632	93.16	6.84	51,594	5.99
20	9,907	9,007	900	90.92	9.08	52,224	5.80
21	9,071	8,231	840	90.74	9.26	46,868	5.69
22	9,077	8,184	893	90.16	9.84	44,952	5.49
23	7,713	6,827	886	88.51	11.49	35,855	5.25
24	7,132	6,250	882	89.04	10.96	31,683	5.07
25	5,674	4,903	771	86.40	13.60	23,242	4.74
26	3,634	3,144	490	86.24	13.76	14,556	4.63
27	3,042	2,516	526	82.78	17.22	10,989	4.37
28	2,472	2,039	433	82.48	17.52	8,244	4.04
29	1,453	1,191	262	81.97	18.03	4,595	3.86
30	1,661	1,271	390	76.52	23.48	4,477	3.52
31	670	511	159	76.27	23.73	1,693	3.31
32	656	487	169	74.24	25.76	1,515	3.11

33	646	445	201	68.89	31.11	1,357	3.05
34	445	291	154	65.39	34.61	787	2.70
35	458	285	173	62.23	37.77	693	2.43
36	267	170	97	63.67	36.33	409	2.41
37	325	192	133	59.08	40.92	415	2.16
38	278	161	117	57.91	42.09	326	2.02
39	204	108	96	52.94	47.06	209	1.94
40	247	85	162	34.41	65.59	130	1.53
41	177	49	128	27.68	72.32	76	1.55
42	138	21	117	15.22	84.78	30	1.43
43	94	17	77	18.08	81.92	21	1.24
44	93	12	81	12.90	87.10	16	1.33
45	88	4	84	4.55	95.45	4	1.00
46	55	1	54	1.82	98.18	1	1.00
47	42	1	41	2.38	97.62	1	1.00
48	56	3	53	5.36	94.64	3	1.00
49	32	—	32	—	100.00	—	—
50	23	1	22	4.35	95.65	1	1.00
51	16	—	16	—	100.00	—	—
52	17	—	17	—	100.00	—	—
53	11	—	11	—	100.00	—	—
54	18	—	18	—	100.00	—	—

本表外に55歳以上の不妊者64人、未婚者790人、不明163人あり、總數 88,383人なり。

いては1人平均4.64となり、分娩者のみに就いては5.31となつて居る。

1人平均の分娩數は15歳結婚の者が最も多くして6.37、18歳迄の結婚者は6以上、24歳迄の結婚者は5以上、28歳迄結婚者は4以上、33歳迄結婚者は3以上、38歳迄結婚者は2以上の平均になつて居る。従つて昭和16年1月發表されたる人口政策確立要綱に於ける1夫婦5人以上の子女を擧げんとするには、婦人に於ては24歳以前に結婚しなければならぬと云ふことになるのである。

女子に於ける最高分娩年齢に就いては種々調査の結果56歳に於て分娩したるものが最高年齢を示して居る。

今不妊婦人に就いて特に一言するの必要を認むるは第5表に示すが如く經閉期迄夫婦同棲せるに拘らず12.6%といふ多數の不妊者を有する事實にして、之を其の儘放任することは人口政策上極めて不得策と思はれ、結婚奨励と同時に斯かる婦人に出來得る限り妊娠の機會を得させる事が肝要なりと思はれる。昭和15年の春熊本縣醫師會の名に於て、不妊婦人國家管理を建議して居る。不妊婦人國家管理とは結婚後3年を経過するも尙ほ妊娠せざる者は専門醫の診察を受けしめ、診察の結果治療すれば妊娠する見込のある者には治療を勧め、若し其の人に資産なくして治療の出來ぬ者には優生學の立場より見て、其の人に子供が出來れば國家的に利益ありとの見込のある者には國家が治療費を出す必要ありと思ひ國家管理とせんとするものである。

7. 夫の結婚年齢と分娩數

夫に於ける生殖年限は比較的長年月に亙り、第6表及第5圖に示すが如く31歳迄の者は平均5人以上を分娩せしめ、38歳迄は4人以上、49歳迄は平均3人以上其の後も平均2人内外を分娩せしめ、最高87歳の者に於て妻に分娩せしめたる例がある。尤も男子に於ける最高分娩

第6表 夫(經閉者に對する)の結婚年齢と分娩數並不妊

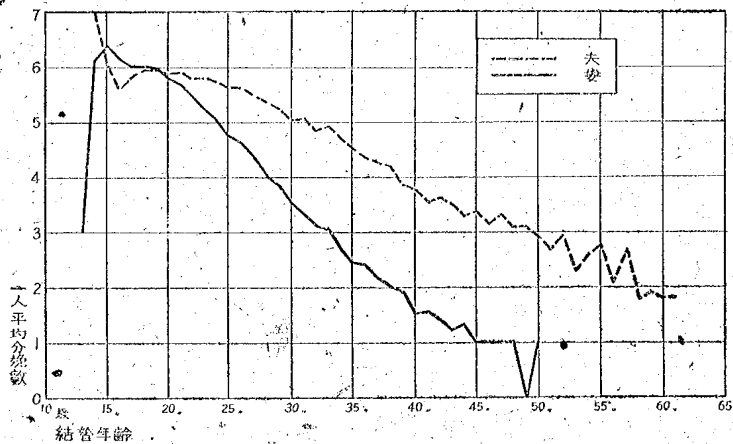
夫の結婚年齢	結 婚 者 實 數				割 合			分娩數	1人平均分娩數
	總 數	分娩者	不妊者	經閉前夫の死に或は手術による不妊者	分娩者	不妊者	經閉前夫の死に或は手術による不妊者		
總 數	85,538	71,144	10,352	4,032	83.17	12.11	4.71	382,718	5.38
14 以下	8	6	2	—	75.00	25.00	—	42	7.00
15	33	27	4	2	81.82	12.12	6.06	164	6.07
16	103	90	11	2	87.38	10.68	1.94	505	5.61
17	369	321	37	11	86.99	10.03	2.98	1,870	5.83
18	855	748	69	38	87.49	8.07	4.44	4,440	5.94

19	1,724	1,523	130	71	88.34	7.54	4.12	9,055	5.95
20	2,883	2,544	214	125	88.24	7.42	4.34	14,950	5.88
21	4,262	3,760	313	189	88.22	7.34	4.43	22,214	5.91
22	5,143	4,470	434	239	86.91	8.44	4.65	25,865	5.79
23	6,278	5,469	522	287	87.11	8.31	4.57	31,709	5.80
24	7,657	6,642	678	337	86.74	8.85	4.40	38,083	5.73
25	8,407	7,228	782	397	85.98	9.30	4.72	40,748	5.64
26	7,706	6,595	744	367	85.58	9.65	4.76	37,112	5.63
27	6,935	5,892	705	338	84.96	10.17	4.87	32,370	5.49
28	6,028	5,137	621	270	85.22	10.30	4.48	27,550	5.36
29	4,703	3,986	488	229	84.75	10.38	4.87	20,917	5.25
30	4,218	3,473	533	212	82.33	12.64	5.03	17,461	5.03
31	2,722	2,255	333	134	82.84	12.23	4.92	11,433	5.07
32	2,289	1,858	322	109	81.17	14.07	4.76	8,992	4.84
33	1,772	1,422	257	93	80.25	14.50	5.25	6,994	4.92
34	1,387	1,097	211	79	79.09	15.21	5.70	5,134	4.70
35	1,281	973	229	79	75.96	17.88	6.17	4,406	4.53
36	1,026	785	192	49	76.51	18.71	4.78	3,423	4.36
37	845	629	170	46	74.44	20.12	5.44	2,678	4.26
38	776	550	176	50	70.88	22.68	6.44	2,303	4.19
39	629	444	155	30	70.59	24.64	4.77	1,716	3.86
40	707	496	175	36	70.16	24.75	5.09	1,876	3.78
41	531	371	128	32	69.87	24.11	6.03	1,318	3.55
42	534	373	136	25	69.85	25.47	4.68	1,354	3.63
43	404	273	117	14	67.57	28.96	3.47	957	3.51
44	348	228	108	12	65.52	31.03	3.45	752	3.30
45	352	224	108	20	63.64	30.68	5.68	757	3.38
46	279	176	86	17	63.08	30.82	6.09	556	3.16
47	263	164	87	12	62.36	33.08	4.56	546	3.33
48	252	140	96	16	55.56	38.10	6.35	432	3.09
49	206	121	80	5	58.74	38.83	2.43	374	3.09
50	245	134	99	12	54.69	40.41	4.90	394	2.94
51	166	84	75	7	50.60	45.18	4.22	228	2.71
52	156	76	79	1	48.72	50.64	0.64	224	2.95
53	140	59	77	4	42.14	55.00	2.86	135	2.29
54	118	66	50	2	55.93	42.37	1.69	171	2.59
55	119	47	63	9	39.50	52.94	7.56	130	2.77

56	82	36	43	3	43.90	52.44	3.66	75	2.08
57	82	34	45	3	41.46	54.88	3.66	91	2.68
58	86	30	53	3	34.88	61.63	3.49	53	1.77
59	64	25	38	1	39.06	59.38	1.56	48	1.92
60	68	21	43	4	30.88	63.24	5.88	38	1.81
61以上	297	42	244	11	14.14	82.15	3.70	72	1.71

本表外に不明1,826人あり、總數は87,364人なり。(第1回調査)

第5圖 夫妻(經閉者)の結婚年齢と分娩數



年齢は調査の正確を期しがたきを以て種々調査に苦心したる結果、本例を見出したる次第にして即ち77歳の男子30歳の婦人と結婚し7年後初産、10年後第2兒を擧げたりと云ふ一例である。従つて本例に依れば87歳に於て第2兒を得たることとなる。

8. 職業と分娩數並不妊

分娩數は夫の職業に依つてかなりの差異を示し、第7表及第6圖に示すが如く水産業が最も多數を占めて、1人平均分娩數6を算し、農業は5.7、一般勞務者は5.5、工業は5.4、鑛業は5.2、商業5.0、公務自

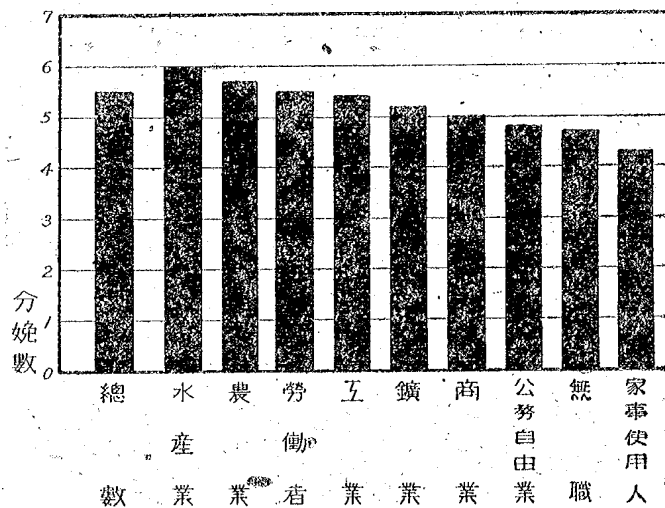
由業 4.8、家事使用人 4.3の順序となつてゐる。不妊者の割合は農業者最も少くして9.4%、水産業10.0%、次に一般勞務者、公務自由業、鑛業、工業、商業の順序となり家事使用人の 20.8%が最も多い。

第 7 表 夫の職業と分娩數並不妊

	總數	水産業	農業	勞務者	工業	鑛業	商業	公務自由業	無職	家事使用人
總數	132,771	1,917	87,550	3,486	3,396	85	17,443	9,078	9,220	595
不妊者	15,413	192	8,271	382	492	12	3,045	1,167	1,728	124
分娩者	117,358	1,725	79,279	3,104	2,904	74	14,398	7,911	7,492	471
不妊者 分娩者	11.6	10.0	9.4	10.9	14.5	13.9	17.4	12.8	18.7	20.8
分娩總數	643,739	10,329	452,287	17,173	15,667	382	72,294	38,293	35,279	2,035
1人平均 分娩數	5.5	6.0	5.7	5.5	5.4	5.2	5.0	4.8	4.7	4.3

本表外に不明なる者3,936人あり、總數136,707人なり。(第 I 回調査)

第 6 圖 夫の職業と分娩數



9. 月經初潮年齢と分娩數

月經の初潮年齢と分娩數（第8表参照）との關係を調査するに16歳初潮の者は5.6、14歳15歳及17歳は5.5、18歳は5.4、13歳以下及19歳は5.3、20歳は5.0分娩し、21歳以上で月經の初潮したる者は何れも5人未

第8表 月經初潮年齢と分娩數

熊 本 縣

初潮年齢	結婚者數	總數に對する割合	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數
總 數	134,794	100.00	119,083	652,825	5.5
13歳以下	844	0.63	732	3,868	5.3
14歳	6,413	4.76	5,662	30,951	5.5
15歳	16,944	12.57	14,949	82,635	5.5
16歳	39,632	29.40	35,095	194,851	5.6
17歳	39,697	29.45	35,222	194,019	5.5
18歳	19,988	14.83	17,697	96,051	5.4
19歳	7,632	5.66	6,624	35,290	5.3
20歳	2,715	2.01	2,312	11,488	5.0
21歳	572	0.42	481	2,310	4.8
22歳	171	0.13	153	714	4.7
23歳以上	186	0.14	156	648	4.2

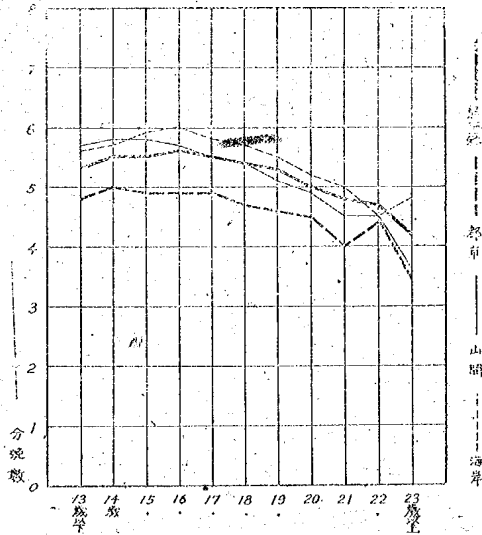
本表外に不妊15,711人、未婚816人、不明1,097人あり、總數136,707人なり。(第1回調査)

地 域 別

初潮年齢	都 市			山 間			海 岸		
	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數
總 數	16,066	78,046	4.9	19,171	107,084	5.6	21,918	126,565	5.8
13歳以下	159	770	4.8	152	872	5.7	48	267	5.6
14歳	1,284	6,449	5.0	1,098	6,355	5.8	515	2,941	5.7
15歳	2,845	14,151	4.9	2,999	17,365	5.8	1,575	9,343	5.9
16歳	5,038	24,473	4.9	6,264	35,536	5.7	4,619	27,489	6.0
17歳	3,944	19,145	4.9	5,631	30,992	5.5	6,912	40,432	5.8

18 歳	1,808	8,554	4.7	2,207	11,879	5.4	4,868	27,834	5.7
19 歳	720	3,338	4.6	587	2,982	5.1	2,257	12,502	5.5
20 歳	196	876	4.5	171	836	4.9	857	4,465	5.2
21 歳	49	195	4.0	33	149	4.5	161	797	5.0
22 歳	16	71	4.4	15	67	4.5	54	245	4.5
23歳以上	7	24	3.4	14	51	3.6	52	250	4.8

第 7 圖 月經初潮年齢と分娩數



満となる。之を地域別に分類すると第 7 圖に示すが如く、海岸地方に於て最も多くして 21 歳迄の初潮者は 5 人以上、山間地方に於ては之に亞ぎて 19 歳迄に初潮したるものは 5 人以上分娩せるも、都市に於ては僅に 14 歳に初潮の者のみが平均 5 人を分娩してゐると云ふ様な状況である。

10. 月經持續年數と分娩數

月經持續年數と分娩數との關係を見るに第 9 表及第 8 圖に示すが如く持續年數の少なき者、即ち 13 年以下の者に於ては分娩數は 3 人程度

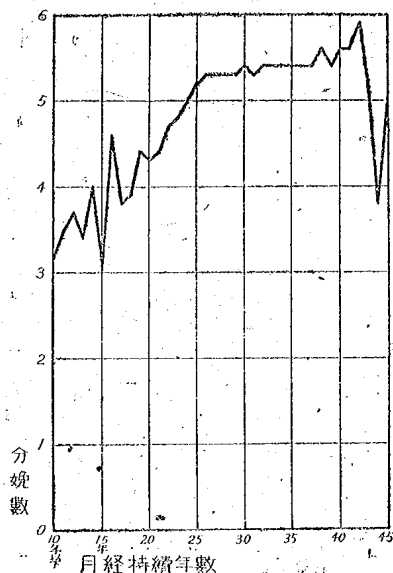
第 9 表 月經持續年數と分娩數

月經持續年數	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數	月經持續年數	分娩者數	分娩總數	1人平均分娩數
總數	76,277	405,147	5.3	10年以下	12	38	3.2

11 年	2	7	3.5	29 年	4,702	25,012	5.3
12 年	3	11	3.7	30 年	5,763	30,744	5.4
13 年	5	17	3.4	31 年	6,632	35,250	5.3
14 年	2	8	4.0	32 年	8,494	45,902	5.4
15 年	20	59	3.0	33 年	10,167	54,628	5.4
16 年	25	114	4.6	34 年	8,462	45,850	5.4
17 年	175	673	3.8	35 年	5,412	29,432	5.4
18 年	155	617	3.9	36 年	3,369	18,358	5.4
19 年	225	999	4.4	37 年	1,910	10,403	5.4
20 年	556	2,384	4.3	38 年	1,115	6,239	5.6
21 年	727	3,233	4.4	39 年	599	3,263	5.4
22 年	1,224	5,764	4.7	40 年	362	2,036	5.6
23 年	1,604	7,702	4.8	41 年	138	777	5.6
24 年	1,996	10,010	5.0	42 年	89	522	5.9
25 年	2,249	11,648	5.2	43 年	27	138	5.1
26 年	2,633	13,950	5.3	44 年	8	30	3.8
27 年	3,224	17,154	5.3	45 年	8	41	5.1
28 年	4,183	22,134	5.3				

本表外に不妊11,928人、未婚87人、不明91人あり、總數88,383人なり。(第1回調査)

第8圖 月經持續年數と分娩數



にして14年以上23年迄の者は4人程度、24年以上に至りて初めて國策に沿ふ5人以上の分娩をなしてゐる。尤も分娩後月經を見ずして次の妊娠に移行せる者あるも普通終産後再度月經を發來し、其の後經閉するものなるを以て初經年月より其の經閉期迄を計算したるものである。

月經持續年數は普通滿30年内外なるも本統計に於ては平均30.96年にして、45年に及びたるものが8名と云ふ數に達した。

11. 分娩年代別分娩数

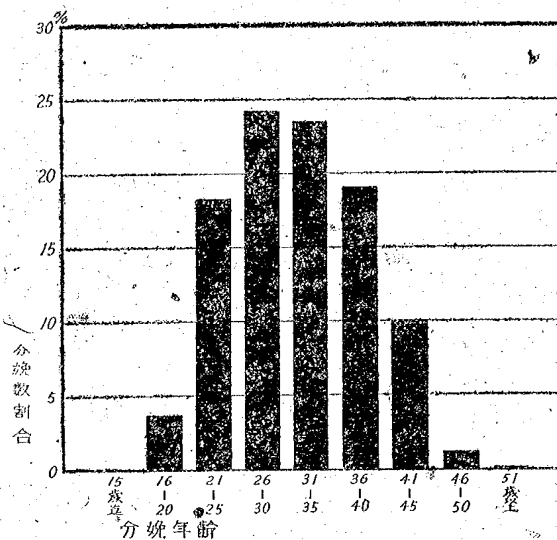
各分娩年代に於ける分娩の割合（第10表及第9圖参照）を51歳以上

第10表 分娩年代別分娩数

母の年齢	母の 實數	分 娩 年 代 別 分 娩 数										1人平均 分娩数
		總 数	16歳 未滿	16— 20歳	21— 25歳	26— 30歳	31— 35歳	36— 40歳	41— 45歳	46— 50歳	51歳 以上	
總 数	72,144	379,116	36	13,760	69,279	91,801	88,982	72,767	38,003	4,345	143	5.26
51—60歳	34,162	185,773	13	6,457	32,926	45,142	44,054	36,447	18,713	1,971	50	5.44
61—70歳	25,214	129,783	14	4,604	24,143	31,481	30,108	24,735	13,128	1,522	48	5.15
70歳以上	12,768	63,560	9	2,699	12,210	15,178	14,820	11,585	6,162	852	45	4.98
總數の分娩年代別分娩割合		100.00	0.01	3.63	18.27	24.21	23.47	19.19	10.02	1.15	0.04	

本表外に不妊10,537人、未婚506人、不明84人あり、總數83,271人なり。（第1回調査）

第9圖 分娩年代別分娩数割合



の婦人 72,144人に就いて調査するに21歳より40歳迄の分娩が85%を占め、26歳より30歳迄の5年間に於ては全分娩の約4分の1、即ち24.2%、31歳より35歳迄の者が23.5%、次は21歳より25歳迄と26歳より40歳迄の年代に於ける分娩の順となつてゐる。

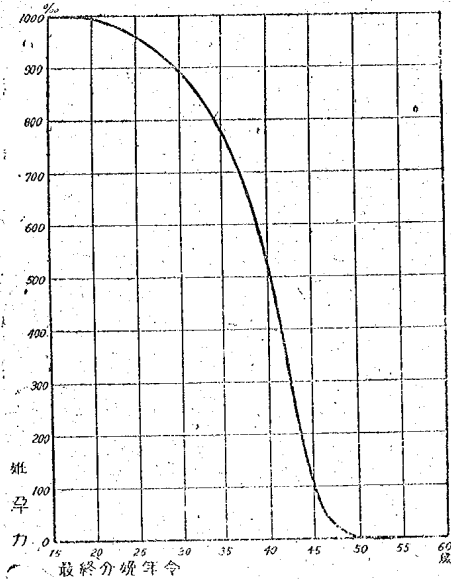
12. 妊 孕 力 調 査

婦人の妊娠し得る期間は理論上月経の初潮より経閉期迄なるも、事實上の妊孕期間は結婚より終産迄なるを以て、茲に妊娠可能率を調査せんが爲に経閉期迄夫婦同棲したる者 71,603人に就いて其の最終分娩年齢を以て妊孕力の消滅期となし、之を八木國男氏擔當調査せるに第11表及第10圖に示すが如く妊娠可能婦人累積数を15歳を1,000.0として計算すれば18歳に於ては 999.5となり、21歳にては 992.4、29歳にては

第 11 表 妊孕力調査(妊娠可能婦人累積數及對數値) (八木國男氏調査)

最終分娩年齢	分娩婦人實數	分娩婦人割合 (%)	妊娠可能婦人累積數 (%)	妊娠可能婦人累積數對數値	最終分娩年齢	分娩婦人實數	分娩婦人割合 (%)	妊娠可能婦人累積數 (%)	妊娠可能婦人累積數對數値
15	2	0.03	1,000.0	3.000	36	2,871	40.1	742.7	2.870
16	2	0.03	1,000.0	3.000	37	3,530	49.3	702.6	2.850
17	33	0.5	999.9	2.999	38	3,883	54.2	653.3	2.815
18	83	1.2	999.5	2.999	39	5,293	73.9	599.1	2.777
19	183	2.6	998.3	2.999	40	5,836	81.5	525.2	2.720
20	241	3.4	995.7	2.998	41	6,784	94.7	443.7	2.647
21	453	6.3	992.4	2.997	42	6,654	92.9	348.9	2.543
22	459	6.4	985.0	2.994	43	5,880	82.1	256.0	2.409
23	566	7.9	979.6	2.991	44	4,787	66.9	173.9	2.241
24	711	9.9	971.7	2.987	45	3,421	47.8	107.0	2.030
25	848	11.8	961.8	2.983	46	2,034	28.4	59.3	1.774
26	881	12.3	950.0	2.978	47	1,166	16.3	30.8	1.491
27	956	13.4	937.7	2.972	48	560	7.8	14.6	1.167
28	1,071	15.0	924.3	2.966	49	247	3.5	6.7	0.839
29	1,113	15.5	909.4	2.959	50	99	1.4	3.3	0.531
30	1,292	18.0	893.8	2.951	51	51	0.7	1.9	0.332
31	1,387	19.4	875.8	2.942	52	36	0.5	1.2	0.192
32	1,501	21.0	856.4	2.932	53	28	0.4	0.7	0.083
33	1,984	27.7	835.4	2.922	54	17	0.2	0.3	0.017
34	2,108	29.4	807.7	2.907	55	4	0.06	0.1	0.010
35	2,547	35.6	778.3	2.891	56	1	0.01	0.0	0.000

第10圖 妊 孕 力



909.4、34 歳にては 807.7、
37 歳にては 702.6、40 歳にて
は 525.2、45 歳にては 107.0
となり爾後殆んど妊孕力を
有せざる状態に低下して居
る。

13. 結婚年齢と初産

本調査は第 2 回調査の 20 歳乃至 40 歳の年若き婦人に就いてのみ調査したのである。其の理由は、第 1 回調査は高年なるを以て結婚年齢並分娩年齢共に算へ年を記載せり、従つて正確を期し難き虞れある爲に、第 2 回調査に就いて集計したのである。

今結婚より初産迄の年数を調査するに 86,945 人中初産年齢の明かなる者は 65,313 人即ち總數の 87.43% にして、不妊者は 9,388 人即ち總數の 12.57% に當り、初産年齢の不明なる者、再婚後に初産したる者は 12,244 人を算して居る。

而して結婚後 1 年以内に初産したる者は、第 12 表及第 11 圖に示すが如く 35.91% で實數 26,822 人に達し、第 2 年以内に初産の者は 34.61% で

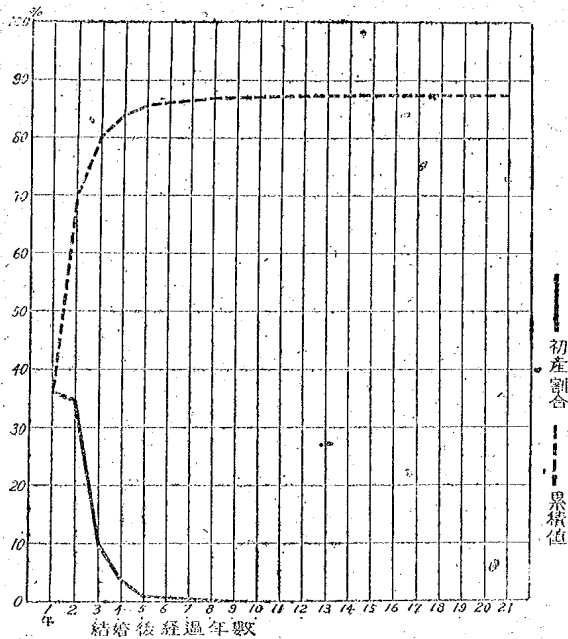
第12表 結 婚 年 齡 上

結 婚 年 齡	總 數	3 年 以 內				4						
		總 數	1	2	3	總 數	4	5	6	7	8	9
總數	100.00	80.19	35.91	34.61	9.67	7.23	3.52	1.56	0.78	0.44	0.31	0.17
13	100.00	—	—	—	—	100.00	33.33	66.67	—	—	—	—
14	100.00	50.00	20.00	20.00	10.00	40.00	10.00	—	—	10.00	10.00	—
15	100.00	75.89	20.57	33.33	21.99	21.28	10.64	3.55	4.96	0.71	—	0.71
16	100.00	82.09	28.81	38.06	15.22	13.29	6.12	3.13	1.49	0.30	0.45	0.60
17	100.00	82.54	28.25	39.47	14.82	13.94	6.93	3.16	1.67	0.88	0.44	0.04
18	100.00	81.54	32.45	39.20	12.89	10.53	5.36	1.97	1.04	0.53	0.55	0.16
19	100.00	81.55	34.24	38.38	11.93	9.19	4.35	1.84	1.04	0.54	0.42	0.24
20	100.00	82.36	34.99	36.43	10.94	8.60	4.14	1.89	0.87	0.45	0.39	0.21
21	100.00	82.83	36.90	36.14	9.79	7.08	3.43	1.41	0.74	0.50	0.38	0.21
22	100.00	82.82	38.58	35.15	9.09	5.92	2.74	1.11	0.68	0.50	0.29	0.21
23	100.00	80.13	37.45	34.04	8.64	5.68	2.70	1.22	0.63	0.38	0.23	0.13
24	100.00	78.32	39.53	31.24	7.55	5.57	2.82	1.30	0.52	0.28	0.16	0.15
25	100.00	76.04	37.78	31.11	7.15	5.34	2.62	1.42	0.61	0.18	0.20	0.07
26	100.00	74.55	37.13	30.34	7.08	4.30	2.08	1.09	0.43	0.36	0.17	—
27	100.00	70.33	36.35	27.70	6.28	4.57	1.96	1.08	0.77	0.41	0.05	0.10
28	100.00	69.90	35.74	27.88	6.27	4.13	2.14	1.11	0.40	0.32	0.08	—
29	100.00	61.19	30.97	24.40	5.82	7.46	3.79	1.64	0.63	0.51	0.13	0.25
30	100.00	61.38	27.34	26.10	7.94	6.36	3.88	0.88	0.71	0.53	0.18	0.18
31	100.00	57.28	28.80	22.65	5.83	4.53	2.59	0.32	0.65	0.32	0.65	—
32	100.00	52.72	34.31	14.64	3.77	4.19	2.51	0.84	0.84	—	—	—
33	100.00	49.03	25.16	16.77	7.10	4.53	1.94	1.94	0.65	—	—	—
34	100.00	42.86	19.33	20.17	3.36	1.68	1.68	—	—	—	—	—
35	100.00	46.43	16.67	22.62	7.14	—	—	—	—	—	—	—
36	100.00	30.50	22.03	6.78	1.69	3.39	3.39	—	—	—	—	—
37	100.00	29.27	19.51	9.76	—	—	—	—	—	—	—	—
38	100.00	10.71	7.14	3.57	—	—	—	—	—	—	—	—
39	100.00	10.00	10.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	100.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

初産迄の年数

年 以 上												不妊者
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
0.14	0.12	0.05	0.04	0.06	0.03	0.02	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	12.57
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	10.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10.00
—	—	—	—	—	—	—	0.71	—	—	—	—	2.83
0.30	0.45	0.15	0.15	—	0.15	—	—	—	—	—	—	4.62
0.18	0.26	—	0.04	0.09	0.04	0.09	—	0.04	0.04	—	0.04	3.52
0.26	0.18	0.07	0.05	0.15	0.04	0.07	0.04	0.04	—	—	0.02	4.92
0.24	0.21	0.02	0.07	0.13	0.04	0.01	—	0.02	0.02	—	—	6.25
0.19	0.15	0.04	0.04	0.06	0.05	0.03	0.02	0.05	0.02	—	—	9.05
0.10	0.06	0.03	0.05	0.07	0.02	0.02	—	—	—	0.01	—	10.10
0.09	0.07	0.03	0.05	0.03	0.04	0.02	—	—	0.01	—	—	11.24
0.18	0.11	0.02	0.01	0.01	0.05	0.01	—	—	—	—	—	14.18
0.06	0.12	0.04	0.04	0.04	0.01	—	—	—	—	—	—	16.11
0.07	0.07	0.02	0.02	0.02	0.04	—	—	—	—	—	—	18.61
0.10	0.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	21.14
0.05	0.05	0.10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.08
0.08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.97
0.38	0.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.35
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	32.27
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	38.19
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43.10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46.45
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	55.46
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	53.57
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.10
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	70.73
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	89.29
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	90.00
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.00

第11圖 結婚後の経過年数と初産者の増加



25,852人、第3年以内に初産の者は9.67%、7,224人を算し、3年以内に初産したる者は80.19%、総数53,898人となり、其の後の初産者は7.23%、5,415人となる。

次に結婚年齢と初産迄との関係を見るに18歳及19歳に於て結婚したる者は3年以内に84.54%乃至84.55%に於て初産し、同じく3年以内に16歳乃至22歳の者

は82.09%以上初産し、23歳にありては80.13%、24歳は78.32%、25歳は76.04%、15歳は75.89%、26歳以上は順次初産数を減じて居る。従つて18、19歳に於て結婚したる者が最も良成績を示して居ると云ふことが出来る。

14. 妻(経閉者)の同胞数と分娩数

分娩数は各人の疾病、體質、経済的、社会的状況に依つて左右せらるるを以て、同じ同胞にても分娩数の多少、又は中には不妊者を有することあるは明かなる事實なるも大體に於て動植物界に於けるが如く多産系が存在するや否やを決定する必要ありと思ひ斯かる方面の集計

をなしたのである。然るに第13表及第12圖に示すが如く 84,279人中同胞数は1人から18人迄あり、其の中5人同胞が最も多くして14,790人に上る。結婚者の中分娩者の多きは6人同胞にして87.91%である。1人平均の分娩数は1人から11人同胞迄は次第に増加し、11人同胞に於ては5.83となり、其の後は幾分減少する傾向あるも不定にして、殊に其の員数少きを判定する事は困難である。總數の1人平均分娩数は5.33となつて居る。

第13表 妻(經閉者)の同胞數と分娩數

同胞數	結 婚 者 實 數			割 合		分娩總數	1人平均分娩數
	總 數	不 妊 者	分 娩 者	不 妊 者	分 娩 者		
總 數	84,279	10,966	73,313	13.01	86.99	390,531	5.33
1	3,960	553	3,407	13.96	86.04	17,450	5.12
2	7,010	977	6,033	13.94	86.06	30,973	5.13
3	12,243	1,668	10,575	13.62	86.38	54,105	5.12
4	14,411	1,825	12,586	12.66	87.34	65,451	5.20
5	14,790	1,885	12,905	12.75	87.25	68,621	5.32
6	12,211	1,476	10,735	12.09	87.91	58,730	5.47
7	8,492	1,066	7,426	12.55	87.45	40,908	5.51
8	5,876	772	5,104	13.14	86.86	28,330	5.55
9	2,787	398	2,389	14.28	85.72	13,616	5.70
10	1,644	219	1,425	13.32	86.68	8,199	5.75
11	462	63	399	13.64	86.36	2,325	5.83
12	288	49	239	17.01	82.99	1,328	5.56
13	73	13	60	17.81	82.19	316	5.27
14	19	—	19	—	100.00	120	6.32
15	5	2	3	40.00	60.00	24	8.00
16	7	—	7	—	100.00	30	4.29
17	—	—	—	—	—	—	—
18	1	—	1	—	100.00	5	5.00

本表外に未婚419人、不明3,685人あり、總數88,383人なり。(第1回調査)

15. 妻(経閉者)の同胞中の順位と分娩数

(1) 同胞2人の者

第14表に示すが如く2人同胞中1番目の出生者は総数2,926人、2番目の出生者は2,346人、計5,272人にして、内7回分娩したる者が最も多くして、1番目にては479人、2番目にては372人、計851人に上り、総数の16.14%を占めてゐる。総数の1人平均分娩数は5.22となつて居る。

第14表 妻の同胞中の順位と分娩数 (1) 同胞2人の者

分娩数	實 数			割 合		
	總 数	1 番 目	2 番 目	總 数	1 番 目	2 番 目
總 数	5,272	2,926	2,346	100.00	100.00	100.00
1	491	278	213	9.31	9.50	9.08
2	503	290	213	9.54	9.91	9.08
3	498	278	220	9.45	9.50	9.38
4	597	321	276	11.32	10.97	11.76
5	691	383	308	13.11	13.09	13.13
6	696	365	331	13.20	12.47	14.11
7	851	479	372	16.14	16.37	15.86
8	406	230	176	7.70	7.86	7.50
9	277	161	116	5.25	5.50	4.94
10	151	87	64	2.86	2.97	2.73
11	69	35	34	1.31	1.20	1.45
12	25	13	12	0.47	0.44	0.51
13	14	5	9	0.27	0.17	0.38
14	1	1	—	0.02	0.03	—
15	2	—	2	0.04	—	0.09
分娩總数	27,503	15,213	12,290	100.00	55.31	44.69
1人平均分娩数	5.22	5.20	5.24			

(1) 経閉者のみに付調査せるものにして経閉時迄は生存せり。

(2) 本表外に不妊者907人、経行中其の他810人、順位不明21人あり、總数は7,010人なり。

(2) 同胞5人の者

5人同胞の者（第15表参照）は總數 12,094人にして1番目出生が2,818人、2番目出生が2,536人、3番目出生が2,727人、4番目出生が1,922人、5番目出生が2,091人となり、分娩回数は1回から16回に及び7回分娩者が最も多くして總數 1,973人に及び、1人平均分娩數は各順位の何れも殆んど同様にして、總數は5.36となつて居る。

第15表 妻の同胞中の順位と分娩數 (2) 同胞5人の者

分娩數	總數	同胞中の順位				
		1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
總數	12,094	2,818	2,536	2,727	1,922	2,091
1	987	235	194	216	144	198
2	905	205	195	214	150	141
3	1,103	273	234	235	164	197
4	1,342	305	230	317	223	207
5	1,810	399	379	392	281	359
6	1,682	361	389	379	269	284
7	1,973	476	402	467	310	318
8	1,058	257	214	237	171	179
9	667	164	134	155	111	103
10	348	86	64	77	56	65
11	148	34	26	27	32	29
12	50	17	9	8	9	7
13	15	3	4	3	1	4
14	4	2	1	—	1	—
15	1	1	—	—	—	—
16	1	—	1	—	—	—
分娩總數	64,884	15,229	13,523	14,613	10,431	11,088
1人平均分娩數	5.36	5.40	5.33	5.36	5.43	5.30

(1) 經閉者のみに付調査せるものにして經閉時迄夫は生存せり。

(2) 本表外に不妊者 1,790人、經行中其の他859人、順位不明47人あり、總數は14,790人なり。

(3) 同胞7人の者

7人同胞の者（第16表参照）は總數 6,985人にして其の分娩回數は1回より15回に及び、最も多きは7回分娩者にて1,228人に及び、1人平均の分娩數は7人同胞の各順位何れも大差なく、總數の1人平均分娩數は5.56となつて居る。

第16表 妻の同胞中の順位と分娩數 (3) 同胞7人の者

分娩數	總數	同 胞 中 の 順 位						
		1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目
總數	6,985	1,399	1,212	1,134	1,059	742	620	819
1	579	117	118	87	88	58	45	66
2	524	103	74	99	67	70	46	65
3	627	129	105	99	99	69	57	69
4	652	132	114	120	83	75	53	75
5	875	174	148	154	134	91	80	94
6	929	178	173	142	158	86	81	111
7	1,228	242	207	181	185	135	119	159
8	672	130	121	111	103	74	56	77
9	468	97	77	79	72	46	41	56
10	268	57	58	41	36	24	24	28
11	108	27	10	15	22	9	9	16
12	35	9	5	3	7	4	4	3
13	14	3	2	2	3	—	4	—
14	5	—	—	1	2	1	1	—
15	1	1	—	—	—	—	—	—
分娩總數	38,804	7,812	6,701	6,201	5,989	4,028	3,509	4,564
1人平均分娩數	5.56	5.58	5.53	5.47	5.66	5.43	5.66	5.57

(1) 經閉者のみに付調査せるものにして經閉期迄夫は生存せり。

(2) 本表外に不妊者 1,006人、經行中其の他 458人、順位不明 43人あり、總數は 8,492人なり。

第17表 妻の同胞中の順位と分娩数 (4) 同胞10人以上の者

分娩数	総数	同胞中の順位															
		1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目	8番目	9番目	10番目	11番目	12番目	13番目	14番目	15番目	16番目
總数	2,019	332	299	270	240	172	152	128	100	94	154	53	19	4	1	1	—
1	192	24	28	31	18	15	22	12	7	10	17	6	2	—	—	—	—
2	163	26	25	26	10	17	12	8	9	6	16	8	—	—	—	—	—
3	163	27	19	18	21	16	17	8	13	9	7	6	2	—	—	—	—
4	183	32	19	28	26	12	12	13	8	9	17	4	3	—	—	—	—
5	224	27	30	27	34	25	18	18	11	11	17	5	1	—	—	—	—
6	217	37	23	28	31	19	12	16	10	11	14	6	3	1	—	—	—
7	295	56	38	37	36	26	24	16	12	16	23	5	5	—	—	1	—
8	201	27	38	27	23	17	15	13	12	7	17	4	—	1	—	—	—
9	149	26	33	13	15	10	10	9	10	6	11	4	1	1	—	—	—
10	122	25	21	19	15	7	5	9	2	3	10	3	2	1	—	—	—
11	67	15	13	7	7	5	5	2	3	5	4	1	—	—	—	—	—
12	26	5	5	6	2	2	—	1	3	1	—	1	—	—	—	—	—
13	14	4	1	3	2	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—
分娩總数	11,668	2,025	1,828	1,522	1,409	954	790	750	570	525	861	273	107	33	14	7	—
1人平均	5.78	6.10	6.11	5.64	5.87	5.55	5.20	5.86	5.70	5.59	5.59	5.15	5.63	8.25	14.00	7.00	—

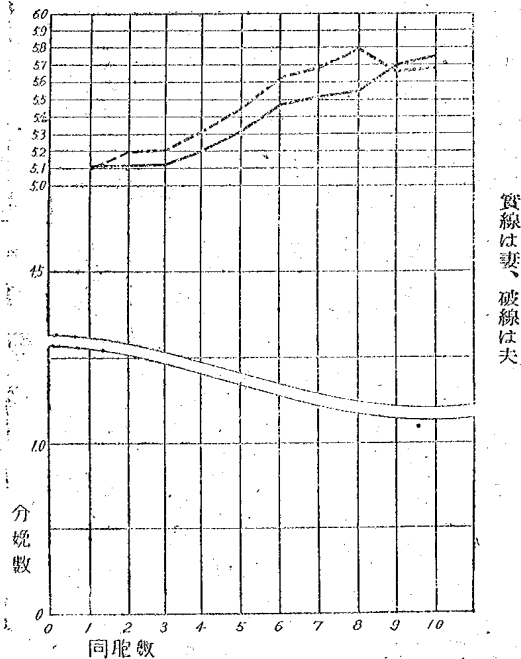
(1) 経閉者のみに付調査せるものにして経閉時迄夫は生存せり。

(2) 本表外に不妊者316人、經行中其の他142人、順位不明22人あり、總数は2,499人なり。

(4) 同胞10人以上の者

同胞10人以上の者（第17表参照）は總數 2,019 人にして分娩回数は1回より14回に及び1番目出生より6番目出生の者は7回分娩が最も多く、7番目出生の者は5回分娩、8番目出生の者は3回分娩、9番目出生、10番目出生は7回分娩、11番目出生は2回分娩、12番目出生は7回分娩が多くなつて居る。1人平均の分娩數も順位によりて可なりの變動があり、13番目以上出生の者は例數が少ない爲に確實な事は不明である。總數の1人平均分娩數は5.78となつて居る。

第12圖 同胞數と分娩數



16. 夫(經閉者に對する)の同胞數と 分娩數並不妊

經閉者に對する夫の同胞數と分娩數との關係を見るに、第18表及第12圖に示すが如く同胞數は1人から16人迄にして、總數77,400人中4人同胞が最も多數にして14,994人に上る。分娩者の割合は13人同胞の者が最も多數で90.16%に及んでゐる。1人平均の分娩數は同胞の員數を増すに従つて増加し、11人及び13人同胞の者が最も多數にして5.89に及び、總數の1人平均分娩數は5.40を示して居る。

第18表 夫(經閉者に對する)の同胞數と分娩數

同胞數	結 婚 者 實 數			割 合		分娩總數	1人平均 分娩數
	總 數	不 妊 者	分 娩 者	不 妊 者	分 娩 者		
總 數	77,400	9,673	67,727	12.50	87.50	365,916	5.40
1	4,557	665	3,892	14.59	85.41	19,839	5.10
2	7,865	1,108	6,757	14.09	85.91	35,039	5.19
3	13,006	1,664	11,342	12.79	87.21	58,942	5.20
4	14,994	1,830	13,164	14.87	85.13	69,912	5.31
5	13,885	1,642	12,243	11.83	88.17	66,674	5.45
6	9,846	1,196	8,650	12.15	87.85	48,734	5.63
7	6,161	721	5,440	11.70	88.30	30,909	5.68
8	3,777	432	3,345	11.44	88.56	19,373	5.79
9	1,681	206	1,475	12.25	87.75	8,368	5.67
10	988	127	861	12.85	87.15	4,890	5.68
11	321	37	284	11.53	88.47	1,674	5.89
12	231	32	199	13.85	86.15	1,136	5.71
13	61	6	55	9.84	90.16	324	5.89
14	19	5	14	26.32	73.68	71	5.07
15	6	2	4	33.33	66.67	19	4.75
16	2	—	2	—	100.00	12	6.00

本表外に未婚者790人、經閉前に夫の死亡及手術による經閉者3,966人、不明なるもの6,227人あり、總數88,383人なり。(第1回調査)

17. 夫(經閉者に對する)の同胞中の 順位と分娩數

(1) 夫の同胞2人の者

第19表に示すが如く夫の同胞2人の者の總數は6,737人にして1番目出生の者が3,691人、2番目出生は3,046人となり、分娩回數は1回より14回迄にして7回分娩の者が最も多く、1番目出生者は559人、2番目は436人、計995人、總數の14.77%を占めてゐる。總數の1人平均分娩數は1番目出生者は5.17、2番目出生者は5.21、平均5.19となつて居る。

第19表 夫の同胞中の順位と分娩數 (1) 夫の同胞2人の者

分娩數	實 數			割 合		
	總 數	1 番 目	2 番 目	總 數	1 番 目	2 番 目
總 數	6,737	3,691	3,046	100.00	100.00	100.00
1	652	347	305	9.68	9.40	10.01
2	658	368	290	9.78	9.97	9.52
3	639	363	276	9.48	9.83	9.06
4	739	404	335	10.97	10.95	11.00
5	900	486	414	13.36	13.17	13.59
6	894	491	403	13.27	13.30	13.23
7	995	559	436	14.77	15.14	14.31
8	558	297	261	8.28	8.05	8.57
9	367	206	161	5.45	5.58	5.29
10	217	114	103	3.22	3.09	3.38
11	73	36	37	1.08	0.98	1.21
12	30	11	19	0.44	0.30	0.62
13	11	7	4	0.16	0.19	0.13
14	4	2	2	0.06	0.05	0.07
分娩總數	34,969	19,094	15,875	100.00	54.60	45.41
1人平均 分娩數	5.19	5.17	5.21			

(1) 經閉期迄夫婦同棲せるものに付調査したるものなり。

(2) 本表外に不妊者1,104人、經行中其の他761人、順位不明24人あり、總數は8,626人なり。

(2) 夫の同胞5人の者

第20表に示すが如く同胞5人の者の総数は12,218人にして分娩回数
は1回より16回に及び何れの順位に於ても7回分娩が最も多数にして
2,120人に及んでゐる。1人平均の分娩数は1番目出生者が5.42、2番
目出生者が5.37、3番目出生者が5.44、4番目出生者が5.43、5番目出
生者が5.57、総平均は5.45を示してゐる。

第20表 夫の同胞中の順位と分娩数 (2) 夫の同胞5人の者

分娩数	総数	同 胞 中 の 順 位				
		1 番 目	2 番 目	3 番 目	4 番 目	5 番 目
總 数	12,218	3,255	2,692	2,645	1,784	1,842
1	954	237	233	214	139	131
2	895	250	203	183	124	135
3	1,141	292	276	245	161	167
4	1,296	361	273	289	172	201
5	1,687	472	369	354	256	236
6	1,739	492	365	389	234	259
7	2,120	554	449	455	352	310
8	1,053	264	232	225	155	177
9	677	165	142	167	101	102
10	387	94	93	66	60	74
11	157	47	27	33	20	30
12	85	18	24	19	9	15
13	22	8	5	4	1	4
14	1	—	—	—	—	1
15	2	1	—	1	—	—
16	2	—	1	1	—	—
分娩總数	66,556	17,636	14,467	14,397	9,796	10,260
1人平均 分娩数	5.45	5.42	5.37	5.44	5.43	5.57

(1) 經閉期迄夫婦同棲せるものに付調査したるものなり。

(2) 本表外に不妊者1,635人、經行中其の他481人、順位不明32人あり、總数は14,366人なり。

(3) 夫の同胞7人の者

第21表に示すが如く同胞7人の者は5,422人にして分娩回数は1回より14回に及び各順位共に7回分娩が最も多く總數990人となつてゐる。1人平均の分娩数は1番目出生者5.67、2番目出生者5.74、3番目出生者5.68、4番目出生者5.65、5番目出生者5.55、6番目出生者5.74、7番目出生者5.78、總平均は5.69となつて居る。

第21表 夫の同胞中の順位と分娩數 (3) 夫の同胞7人の者

分娩數	總數	同 胞 中 の 順 位						
		1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目
總數	5,422	1,280	1,000	914	781	536	403	508
1	397	102	72	63	56	35	29	40
2	362	77	59	66	53	39	29	39
3	421	106	79	72	64	46	22	32
4	553	113	96	97	86	72	34	55
5	710	171	136	116	105	69	68	45
6	708	172	137	121	98	65	47	68
7	990	247	197	159	122	86	77	102
8	553	130	83	103	90	60	41	46
9	367	80	67	57	60	30	31	42
10	237	55	45	35	35	19	20	28
11	87	20	22	15	9	12	3	6
12	27	6	6	8	—	3	1	3
13	6	—	1	1	2	—	1	1
14	4	1	—	1	1	—	—	1
分娩總數	30,836	7,258	5,736	5,193	4,414	2,984	2,315	2,936
1人平均分娩數	5.69	5.67	5.74	5.68	5.65	5.55	5.74	5.78

(1) 經閉期迄夫婦同棲せるものに付調査したるものなり。

(2) 本表外に不妊者719人、經行中其の他176人、順位不明20人あり、總數は6,337人なり。

第22表 夫の同胞中の順位と分娩数 (4) 夫の同胞10人以上の者

分娩数	夫の同胞中の順位																
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目	8番目	9番目	10番目	11番目	12番目	13番目	14番目	15番目	16番目	
総数	1,411	292	212	188	173	114	95	60	53	46	113	33	24	7	—	—	1
1	119	37	13	11	11	12	8	5	—	4	13	2	2	1	—	—	—
2	87	15	11	15	14	9	2	7	3	3	6	—	1	1	—	—	—
3	131	34	17	17	20	11	12	3	5	2	5	3	1	—	—	—	1
4	135	22	23	18	19	11	10	7	4	11	9	1	—	—	—	—	—
5	161	23	34	20	23	9	14	4	3	5	19	4	2	1	—	—	—
6	171	46	24	19	17	12	16	5	5	4	8	8	5	2	—	—	—
7	254	47	40	28	28	22	22	11	18	6	22	4	6	—	—	—	—
8	122	29	11	28	15	9	2	3	4	6	9	3	2	1	—	—	—
9	108	19	20	19	12	7	3	5	5	3	9	3	3	—	—	—	—
10	73	12	14	8	4	8	2	8	4	1	8	3	1	—	—	—	—
11	34	7	3	2	5	4	4	1	2	1	2	1	1	1	—	—	—
12	8	—	1	3	2	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
13	5	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—
14	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分娩総数	8,092	1,522	1,239	1,107	976	637	515	355	347	247	666	216	153	39	—	—	3
1人平均分娩数	5.73	5.45	5.84	5.89	5.64	5.59	5.42	5.92	6.55	5.37	5.89	6.55	6.38	5.57	—	—	3.00

(1) 経閉期迄未婚同様せるものに付調査したるものなり。

(2) 本表外に不妊者209人、経行中其の他35人、順位不明8人あり、総数は1,663人なり。

(4) 夫の同胞10人以上の者

第22表に示すが如く夫の同胞10人以上の者の総数は1,411人にして分娩回数は1回より15回に及び1番目出生より8番目出生迄の者は7回分娩の者が最も多く9番目出生者は4回分娩、10番目出生者は7回分娩、11番目出生者は6回分娩、12番目出生者は7回分娩が最も多くなつてゐる。1人平均の分娩数は可なりの變動を有し、總平均は5.73を示してゐる。

第23表 夫妻の同胞數別1人平均分娩數

同胞數	夫	妻
總數	5.40	5.33
2人	5.19	5.22
5人	5.45	5.36
7人	5.69	5.56
10人以上	5.73	5.78

第23表に示すが如く、夫及妻の同胞數と分娩數との關係は著明なる差異を認めざるも同胞數の増加に従ひ夫妻共兄弟(姉妹)數の多き者程1人平均分娩數を増し多産の傾向を認め得る様である。

18. 妊娠順位と流早産、死産並乳兒死亡

妊娠の順位と流産、早産、死産並分娩後1年以内に於ける死亡即ち乳兒死亡の關係（第24表參照）を調査せるに流産、早産に就いては妊娠第5回を1として其の對比を見るに、初回妊娠の場合は1.49の流産、早産を來し、又9回目に於ては1.60、10回目に於ては1.87、11回目以上にては2.85と非常に増加して現はれて居る。死産の方に於ても5回目を1として初産の場合が2.00、9回目以上は増加して11回以上は2.19となつて居る。1年未滿の死亡に於ては妊娠第4回目を1として對比

第24表 妊娠順位と流早産、死産、乳兒死亡比率（第1回調査）

妊娠の順位	流早産比	死産比	1年未滿死亡比	妊娠の順位	流早産比	死産比	1年未滿死亡比
總數	1.21	1.31	1.14	6	1.05	1.15	1.03
1	1.49	2.00	1.43	7	1.11	1.06	1.06
2	1.20	1.18	1.14	8	1.09	1.38	1.15
3	1.13	1.15	1.05	9	1.60	1.71	1.33
4	1.08	1.06	1.00	10	1.87	1.58	1.33
5	1.00	1.00	1.01	11以上	2.85	2.19	1.73

流早産比及死産比の場合は妊娠5回目を1とし、1年未滿死亡比は4回目を1として算出す。

を見ると初産の場合が最も多くて1.43、9回は1.33、11回以上は1.73となつてゐる。即ち始めて妊娠する者は妊娠に對する攝生法を知らない爲に、流産又は死産し又子供の育て方が悪いと思はれるのである。従つて初妊の者に對しては、何らかの方法に依つて妊婦の心得などを十分に納得させる事が必要である。又分娩即ち子供を持つ事は無論本人の爲、一家の爲、祖先に對する義務、國家に對する御奉公と云ふ氣持を植ゑつける事が必要であると思はれる。次に多産者に於ても流早産、死産が斯くの如く多數あることは驚くべき事實にして、之には必ず本人の經濟状態を考ふる必要があると思はれる。從來餘り子供が多

いと、自分の一家の經濟、自分の仕事の邪魔になると云ふ様な考へ方が多分に織り込まれて居た結果と思はれる。従つて多産の者に對しては、國家が經濟的、又は種々なる施設に依りて優遇法を講ずることが肝要と思はれる。一方性病が流産、早産、死産更に不妊の原因となり、又不妊者中不妊の原因を見出し得る者は約80—90%と云はれ、其の内約半數は直接又間接に瘰癧が原因を爲し、尙ほ瘰癧は流早産、前置胎盤、子宮外妊娠の原因となり、早産、死産は共に梅毒に其の原因を持つもの多數にして、而かも假令生産するも先天性梅毒兒は生後短期間に死亡する等人口政策上等閑に附し得ざる問題なるを以て之が積極的豫防策を講ずると共に治療の徹底を圖る必要がある。

19. 居住と出生兒の健否

居住と出生兒の發育の關係（第25表參照）に就いて調査せる結果は次の如くである。一般に徴兵検査に於て都會に生れた者には丙種、丁種所謂不合格者が1,000人中450人もあるに拘らず、田舎に生れた者は310人程度にして、都會に生れて都會の小學校を卒業して、其の後田

第25表 居住と出生兒の健否（第2回調査都）

居 住	實 數				割 合			
	總 數	生存者	1年以 内死亡	2—5年以 内死亡	總 數	生存者	1年以 内死亡	2—5年以 内死亡
總 數	229,371	202,218	13,637	13,516	100.00	88.19	5.93	5.88
都市生れの者	12,503	11,278	595	630	100.00	90.21	4.76	5.03
郡部生れの者	193,271	169,874	11,772	11,625	100.00	87.88	6.10	6.02
初め都市後郡部 へ移動せる者	2,395	2,142	132	121	100.00	89.44	5.51	5.05
初め郡部後都市 へ移動せる者	21,202	18,924	1,138	1,140	100.00	89.26	5.37	5.38

舎に移住した者も410人の丙、丁種があると云はれてゐる。都會で生れた子供は大きくなつても筋骨薄弱者が非常に多い爲に丙種、丁種の

者が多くなる理であるが、上の結果によれば出生後1年間に於ては却つて郡部生れの者に於て死亡者が多くして、都會の者が少いといふ關係を示して居る。之實に都會地に於ては、同じ育てるにしても或は母乳がなく人工榮養をなす場合にも立派な榮養品たる牛乳等が容易に手に入るも田舎に於ては之が出来難い爲と衛生思想の點から見ても田舎の方は幾らか劣る爲に、田舎に於ては死亡率が多いものと推測されるのである。尤も非常な差異は現はれてはゐない爲に斷定的に言ふ事は出来ぬ。

20. 母の教育程度と出生兒の健否

出生後1年以内に死亡の多い少いに就いての調査(第26表參照)を試みた處、女學校出身者の出生兒で1年以内の死亡者は4.54%、2年乃至5年以内死亡者が4.50%であつて女學校出身が最も良いのである。之に亞ぐるのは専門學校出身者で、最も悪いのは小學校出身者となつてゐる。専門學校以上の出身者の子供は良く育つであらうと思はれるが實際はさういふ成績に成つて居らぬ。之は多分専門學校出身者は色々

第26表 母の教育程度と出生兒の健否

學 歴	實 數				割 合			
	總 數	生存者	1年以 内死亡	2—5年以 内死亡	總 數	生存者	1年以 内死亡	2—5年以 内死亡
總 數	253,274	223,522	14,892	14,860	100.00	88.25	5.88	5.87
小 學 校 卒	219,078	192,506	13,291	13,281	100.00	87.87	6.07	6.06
女 學 校 卒	31,262	28,424	1,434	1,404	100.00	90.96	4.54	4.50
專 門 學 校 卒	780	695	39	46	100.00	89.10	5.00	5.90
無 學	2,154	1,897	128	129	100.00	88.07	5.95	5.98

な職業に就いて居る爲に、1日中の或時期は子供を子守等に託して居る場合がある爲と思はれ、託兒施設、其の他の社會施設を施して之等

の子供の死亡を防止する事が必要であると思はれる。小學校出身者に於て死亡者の多いのは、之は如何にしても育兒等に對する知識が少い爲と思はれ其の方面の知識を注入する必要があると思はれる。

21. 出生兒の榮養と生死

第27表に示すが如く出生兒の榮養法と死亡との關係を見るに人工榮養に於ての死亡が斷然多い。母乳榮養が最も良いことは言ふ迄もないが人工榮養は母乳榮養の2倍程度の死亡を示して居る。母乳榮養の良

第27表 出生兒の榮養と生死 (第1回調査)

榮 養	實 數			割 合		
	總 數	生 存 者	1年以内死亡	總 數	生 存 者	1年以内死亡
總 數	641,807	596,637	45,170	100.00	92.96	7.04
母 乳 榮 養	627,306	583,428	43,878	100.00	93.01	6.99
母乳外人乳榮養	511	447	64	100.00	87.48	12.52
人 工 榮 養	4,929	4,328	601	100.00	87.81	12.19
混 合 榮 養	9,061	8,434	627	100.00	93.08	6.92

い事は現在大抵の者が承知してゐるが母が脚氣の症狀でもあると直に、又は乳の検査をした時に脚氣に罹つて居るとの簡單なる考へより直に廢乳する者がある。之は甚しき間違ひにして母乳を廢する場合には少なくとも専門醫、小兒科醫に診察を受け、治療を乞ひ出來得るだけ母乳で押し通す事が子供の發育から見ても、又死亡を防ぐ點からしても必要である。

